

令和7年度実施事業等について

令和7年3月28日(金)

文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課

CO-SHA Platform

～学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム～



「新時代の学びを実現する学校施設」を目指して施設整備を行う学校設置者や、校舎を最大限活用したい教職員、整備を行う民間業者など、どなたでもご利用可能なプラットフォームです。

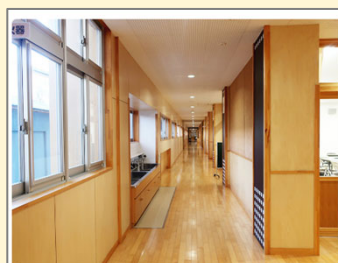
CO-SHA Platform ～ co-creation(共創), sharing ideas(共有) ～

I 新たな学校施設づくり のアイデア集

学校施設の整備・活用事例を
使いやすいコンテンツとして掲載します。

全国の効果的な取組を今後も掲載増

- ✓ 事例ごとにPDFで出力可能
- ✓ ビジュアルや図面などの情報を充実
- ✓ 絞り込みに便利なタグ機能
- ✓ 学校設置者から掲載希望の事例を募集



快適性と省エネの両立を目指した、地域の防災拠点となる長寿命化改修
矢吹小学校(福島県西白河郡矢吹町)

長寿命化 脱炭素化 防災 省エネ 自然エネルギー
地域教育 柔軟な学校空間 居ながら改修

II アドバイザーへの 相談窓口

学校建築アドバイザーによる助言や派遣
を行う相談窓口を設置します。

各分野の専門家への相談受付中

- ✓ 学校建築のエキスパートに相談可能
- ✓ 改修実績のある実務経験者も参画
- ✓ ICTを活用した新しい学びに関する有識者などとも連携して回答を提示



相談例：
改修による柔軟で創造的な
空間づくりのためのアドバイスが
ほしい

III イベント& プロジェクト支援

学校関係者の参加するワークショップや
イベントの開催を行います

全国的な共創の実現に向けた取組

- ✓ 実際に取り組・整備を行った教員や担当者から良かった点や今後の課題等を共有
- ✓ 既存の学校家具等を活用したレイアウト変更など学校参加型のイベントも開催

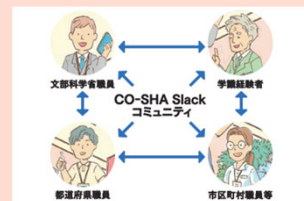


IV CO-SHA Slack コミュニティ

「直接対話型」のコミュニティを
令和7年度から新たに設置します【新規】

施設整備に関わる全国の担当者のネットワークを構築

- ✓ 学校づくりを行っている地方公共団体の職員、附属学校をもつ公立大学法人、学識経験者、文部科学省職員等が参加可能
- ✓ 気軽に投稿、他の参加者との情報共有・共創、効率的な情報収集が可能
- ✓ 令和7年6月～募集開始予定



木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会

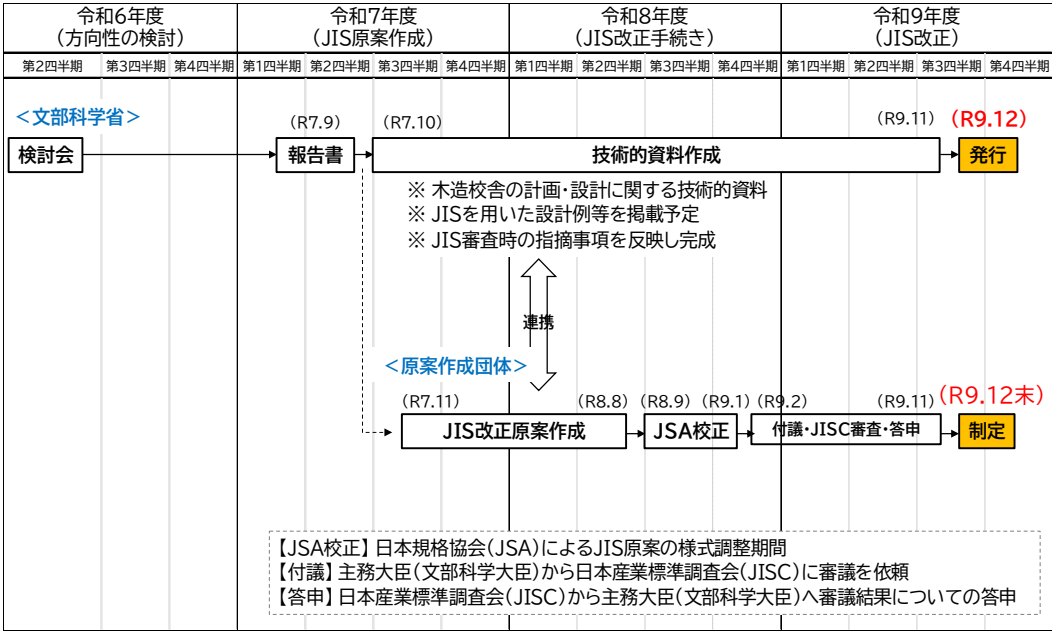
- 文部科学省では、大規模木造建築物の設計経験のない技術者等でも比較的容易に木造校舎の計画・設計が進められるよう「木造校舎の構造設計標準（JIS A 3301）」を策定。（最終改正：平成25年 3月）
- 新しい時代の学校施設の在り方や建築基準関係法令の改正等に対応するため、令和 6 年 8 月に「**木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会**」（座長：長澤 悟 東洋大学名誉教授）を立ち上げ、「木造校舎の構造設計標準（JIS A 3301）」の改正に向けた検討を開始。（令和 9 年12月 改正予定）

◆木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会 委員

氏名	役職
青木 謙治	東京大学大学院 農学生命科学研究科・生物材料科学専攻 教授
荒木 康弘	国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 評価システム研究室 室長
稲山 正弘	東京大学 名誉教授
大庭 拓也	株式会社日建設計 設計グループ テックデザイングループ ディレクター
垣野 義典	東京理科大学 創域理工学部 建築学科 教授
川原 重明	株式会社木質環境建築 代表取締役
草野 崇文	株式会社日本設計 建築設計群 上席主管
後藤 章子	山形県鶴岡市教育委員会 管理課 専門員
長澤 悟	東洋大学 名誉教授
林 立也	千葉大学大学院工学研究院 准教授
堀場 弘	シーラカンズK&H株式会社 代表取締役 東京都市大学 教授

※ 特別協力者として、農林水産省林野庁、経済産業省、国土交通省及び国立教育政策研究所文教施設研究センターが参加

◆JIS改正 全体スケジュール（令和 7 年 2 月時点）



JIS原案作成委員会：一般社団法人日本建築学会（予定）

木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会（令和6年度～）

【URL】 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/073/index.html



木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会

開催状況

第1回検討会（令和6年9月26日（木））

- 検討会の検討体制・スケジュールについて
- 自由討議

第1回WG（令和6年10月28日（月））

- JIS A 3301に係る検討課題について
- 自由討議

第2回WG（令和6年12月11日（水））

- JIS A 3301改正の方向性について
- JIS A 3301改正の全体スケジュールについて

第2回検討会（令和7年2月10日（月））

- JIS A 3301改正の方向性について
- JIS A 3301改正の全体スケジュールについて
- 報告書（骨子案）

今後の予定（令和7年3月時点）

第3回WG（令和7年4月頃）

- 報告書（素案）について

第3回検討会（令和7年6月頃）

- 報告書（素案）について

第4回WG（令和7年8月頃）

- 報告書（案）について

第4回検討会（令和7年9月頃）

- 報告書（案）について

文教施設における多様なPPP/PFIの先導的開発事業

令和7年度予算額(案) 31,569千円
(前年度予算額 30,732千円)



現状・課題

- 多くの文教施設が老朽化等の課題を抱える中、PPP/PFIは、公共施設等の整備・運営に民間事業者の資金や創意工夫を活用することにより、効率的かつ効果的で良好な公共サービスを実現する手法とされている。「経済財政運営と改革の基本方針」、「PPP/PFI推進アクションプラン」等においては、**スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設を含む重点分野に対して**、民間事業者の経営ノウハウを導入し、施設のポテンシャルを最大限活かすため、**基本的には公共施設等運営(コンセッション)事業の活用を目指し**、事業件数の上積みも視野に取組の強化を図ることとされている。
- 施設の改修や運営手法の見直しを検討する文教施設は多くあるものの、コンセッション事業を含めて検討することができている地方公共団体はごく僅か。必ずしも高い収益性が見込めない文教施設についても、**官民連携に係る専門的な知見に基づく伴走支援等を通じ、導入検討、案件形成の加速化を図る。**

PPP/PFI推進アクションプラン(令和6年改定版)[抜粋]

(令和6年6月3日民間資金等活用事業推進会議決定)

原則として5年間で少なくとも具体化すべき事業件数(**5年件数目標**)を目標として設定し、案件候補リストや推進施策、工程を具体化した重点分野実行計画に基づき、事業件数の上積みも視野に取組の強化を図る。(中略)さらに、令和13年度までの10年間で具体化を狙う野心的な事業件数のターゲット(**事業件数10年ターゲット**)を設定※し、案件形成の加速化を図る。※スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設について上方修正が行われた

- 5年件数目標: **スポーツ施設10件、文化・社会教育施設10件、大学施設5件**
- 事業件数10年ターゲット: **スポーツ施設40件、文化・社会教育施設35件、大学施設40件**
旧目標+10件増 旧目標+5件増 旧目標+10件増

事業内容

- コンセッション事業を含めた官民連携手法による文教施設の整備・運営に関心を有する地方公共団体等に対し、導入検討に必要な専門知識の提供や助言を行うための**勉強会**を開催する。
- 特に、文教施設を中心とする複合施設やコンセッション導入事例の少ない施設種に係る検討など、先導性を有する案件を対象に、**専門家を現地に派遣し、現況調査・分析、関連企業との情報交換、関係部署との合意形成等の検討過程についての伴走支援**を行う。
- これらの成果を全国に普及・啓発し、文教施設に係る案件形成を推進する。

委託先 PPP/PFI(コンセッション含む)分野の専門的な知見のあるコンサルタント事業者

支援対象 4~6件程度(所管文教施設の運営手法を検討中の地方公共団体等)

※先導性を有する案件を重視する。また、文教施設におけるPPP/PFI特有の課題についても併せて検討を実施する。

支援内容(例)

- コンセッション方式も含めた官民連携の導入に関する検討へのアドバイス
- 関連企業との情報交換
- コンセッション事業等の導入に関する勉強会等の開催 等

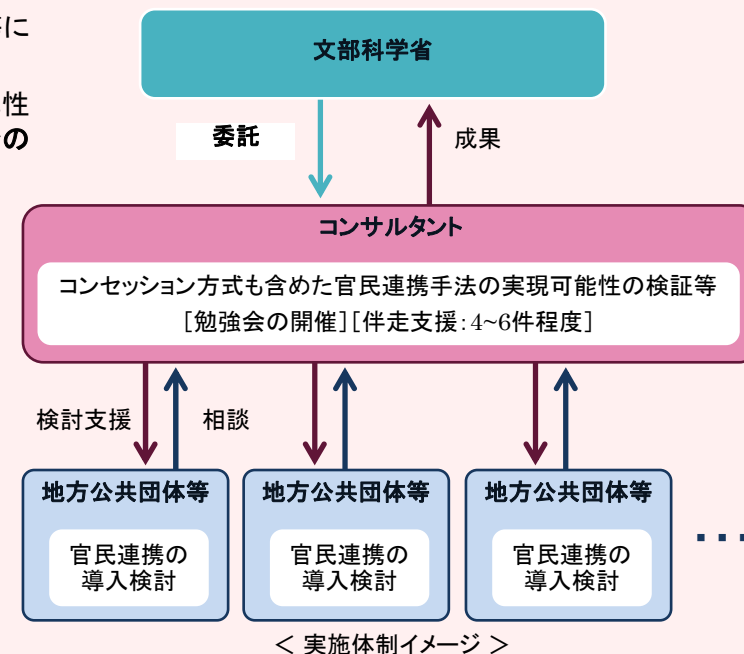
検証段階の案件を掘り起し、
案件の具体化の裾野を拡大

調査検証段階

導入検討段階

手続

多様な
PPP/PFIの
実施



アウトプット(活動目標)

▶伴走支援(専門家派遣)の数

令和6年度	令和7年度
6箇所	6箇所

▶勉強会等の開催数

令和6年度	令和7年度
5件	5件

短期アウトカム(成果目標)

令和7年度:コンセッションの具体化

計20件

長期アウトカム(成果目標)

令和13年度:コンセッションの具体化

計115件

※ スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設においてコンセッション事業の活用に向けた具体化事業件数(令和4年度からの累積)